

こまがばってん“おまき”まき
おしおきといっしょに
農業ははじめる!!



あまおうの栽培に取り組む
大木町の若者たち

三潁郡大木町

耕し手になるまで

1 Do You

農業の将来性について考えてみましょう。

「自分たちの食べものは自分たちで作る。」そんな当たり前の時代がすぐそこまで来ているのではないのでしょうか。そういう意味では、農業の将来性は十分な職業と言えます。

農業がどんな仕事か考えてみましょう。

これまで農業に縁のなかった方々からも新規就農への関心が高まっており、新たな担い手として期待を寄せています。

農業は決まった時間働けば終わりという仕事ではありません。手を掛けてやればやるほど良い作物が収穫できるし、手を抜けばそれなりの作物しかできません。

それだけ日々自然と向き合い、自然と親しみながら、地道な努力を必要とする仕事が農業ではないのでしょうか！？

しかし、いろんな想いを抱いて農業を志したものの、上手く作物が育たなかったり、思いのほか収入が少なかったりと、現実の壁にぶつかり道半ばであきらめてしまう就農者も少なくはありません。成功するかどうかは自分がいかに好きで、努力するかに掛っています。

最後にもう一つ、農業を志す上で大事なことがあります。

皆さんが農業を営むことになれば、当然田んぼに近いところで暮らすこととなります。

農村社会は、居住地域を同じくする生活共同体として深い結びつきを持った社会です。隣近所の皆さんが一堂に会して話し合いの場を持ったり、作業を行ったり、また、冠婚葬祭のお世話をする機会も大変多く、一農業者としてだけでなく、地域の一員として見られ、また、期待もされます。

農村の暮らしは、できるだけ多くの知人を作り、地域への理解を深めることはもちろん、地域で信頼を獲得することが大事です。



耕し手になるまで

3

「農業を始めたい」との想いを明確なビジョンとして整理できたら、いよいよ就農に向けて行動していくことになります。農家になるまでには様々ありますが、ここではその大まかな流れを紹介します。

知識・技術の習得

- ・ 先進的な農家や福岡県農業大学校で研修を受け、確かな生産技術を習得しましょう！
- ・ できるだけ現地に出向き、実際に地域で就農された方や地元農家の方から話を聞いて情報を集めましょう！



資金の確保

- ・ 経営計画を立てて、必要な農地や施設、機械、資材等の準備に係る費用を把握します。
- ・ 農産物を作付し、お金を得るまでには相当の時間が必要です。当分の間の生活資金の確保も必要です。

生産基盤や生活基盤の確保

- ・ 農産物の生産に必要な農地や施設、機械、資材等を確保します。
- ・ 町外から移住し農業を始められる方は、生活の基盤となる住宅や場合によっては倉庫の確保も必要です。

◎いよいよ就農 一人前の農業経営者を目指せ

- ・ 念願の就農を果たしたところですが、最初から全てうまくいくとは限りません。困った時のためにも、相談できる先輩農家などとの付き合いも大切に！
- ・ 一人前の農業経営者を目指し、日々技術力と経営力を磨いていきましょう！



大木町の農産物の生産状況

古くから肥沃な土地と豊富な水、温暖な恵まれた気象条件に恵まれて、米や麦、い草、い草加工を中心に発展してきました。

近年は、い草に代わり福岡のブランド苺「あまおう」やグリーンアスパラガス、エノキ、シメジなど菌茸類などの施設栽培が盛んに行われ、福岡県内でも有数の産地を形成しています。

農業に就く若い人や女性も多く、新規作物の導入や観光農業への取り組みなど、新しい発想と活力で元気な農業を展開しています。

		平成24年度	備 考
米	収穫量	2,900t	
	販売額	6億4,200万円	
麦	収穫量	1,440t	
	販売額	1億4,400万円	
苺	収穫量	838t	福岡県二の産地（JA福岡大城管内）
	販売額	10億2,400万円	生産者数89件
きのこ類	収穫量	8,229t	九州有数の産地
	販売額	22億8,940万円	
グリーンアスパラガス	収穫量	388t	福岡県一の産地（JA福岡大城管内）
	販売額	4億1,600万円	生産者数67件（内36件が大木町）



